

# 流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

## 一. 時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

連結流動性カバレッジ比率

(単位：百万円、%、件)

項目	2022年度第4四半期		2024年度第2四半期	
適格流動資産	2,051,016		1,731,992	
1 適格流動資産の合計額	2,051,016		1,731,992	
資金流出額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2 リテール無担保資金調達に係る資金流出額	8,015,504	580,584	8,102,169	584,835
3 うち、安定預金の額	3,159,936	94,798	3,222,550	96,676
4 うち、準安定預金の額	4,855,568	485,786	4,879,619	488,158
5 ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	3,471,894	1,752,002	3,047,034	1,270,298
6 うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7 うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	3,432,505	1,712,613	2,981,665	1,204,928
8 うち、負債性有価証券の額	39,389	39,389	65,369	65,369
9 有担保資金調達等に係る資金流出額	—	—	—	—
10 デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	535,716	280,079	554,916	304,750
11 うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	243,079	243,079	269,182	269,182
12 うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13 うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	292,637	37,000	285,733	35,567
14 資金提供義務に基づく資金流出額等	119,699	90,171	101,198	93,592
15 偶発事象に係る資金流出額	3,419,569	36,972	3,351,425	33,389
16 資金流出合計額	—	2,739,811	—	2,286,865
資金流入額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17 有担保資金運用等に係る資金流入額	23	23	—	—
18 貸付金等の回収に係る資金流入額	1,144,044	727,579	1,111,788	687,516
19 その他資金流入額	381,999	321,392	366,350	339,720
20 資金流入合計額	1,526,067	1,048,995	1,478,139	1,027,236
連結流動性カバレッジ比率				
21 算入可能適格流動資産の合計額	—	2,051,016	—	1,731,992
22 純資金流出額	—	1,690,816	—	1,259,628
23 連結流動性カバレッジ比率	121.3		137.5	
24 平均値計算用データ数	60		62	

- (1) 2022年度第4四半期より、日次で計測した流動性カバレッジ比率の平均値を使用しております。  
 (2) 2024年度第2四半期の連結流動性カバレッジ比率は、2022年度第4四半期より+16.2ポイントの137.5%となりました。上昇の主な要因は純資金流出額の減少であります。

## 二. 連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

2024年度第2四半期の連結流動性カバレッジ比率は、純資金流出額を上回る適格流動資産を保有し規制水準を上回る水準にあることから、流動性に係る健全性が確保されていると評価しております。

## 三. 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産は、現金、中央銀行への預け金のほか、保有する国債等により構成されています。2022年度第4四半期から2024年度第2四半期にかけての算入可能適格流動資産の減少は、「中央銀行への預け金」の減少を主因とするものです。

## 四. その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項

- 持株流動性比率告示第28条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」の適用はございません。
- 「デリバティブ取引等及びレボ形式の取引等の時価変動に伴う資金流出額」の算定には、持株流動性比率告示第37条に定める「シナリオ法」は適用しておりません。
- 持株流動性比率告示第59条に定める「その他契約に基づく資金流出額」には、預金保険料、支払法人税等が含まれております。
- 持株流動性比率告示第52条に定める「その他偶発事象に係る資金流出額」、持株流動性比率告示第72条に定める「その他契約に基づく資金流入額」には、重要な項目は含まれておりません。
- 流動性カバレッジ比率に与える影響に鑑み、重要性が乏しいと考えられる項目については日次データを使用しておりません。

# 安定調達比率に関する定性的開示事項

## 一．時系列における安定調達比率の変動に関する事項

### 連結安定調達比率

(単位：百万円、%)

項番		2022年度第4四半期				算入率考慮後金額	2024年度第2四半期				算入率考慮後金額
		算入率考慮前金額					算入率考慮前金額				
		満期なし	6月未満	6月以上1年未満	1年以上		満期なし	6月未満	6月以上1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額 (1)											
1	資本の額	996,053	—	—	—	996,053	1,013,965	—	—	—	1,013,965
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本（基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。）に係る基礎項目の額	996,053	—	—	—	996,053	1,013,965	—	—	—	1,013,965
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	個人及び中小企業等からの資金調達	5,625,946	2,365,773	—	—	7,350,574	5,847,957	2,127,493	—	—	7,333,873
5	うち、安定預金等の額	2,942,284	218,243	—	—	3,002,501	2,988,783	130,568	—	—	2,963,384
6	うち、準安定預金等の額	2,683,662	2,147,529	—	—	4,348,072	2,859,174	1,996,924	—	—	4,370,489
7	ホールセール資金調達	2,691,016	2,089,189	439,774	959,392	2,560,507	2,457,511	2,410,861	237,608	1,128,649	2,714,300
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	2,691,016	2,089,189	439,774	959,392	2,560,507	2,457,511	2,410,861	237,608	1,128,649	2,714,300
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	その他の負債	193,281	64,822	—	9,992	—	115,999	11,431	—	9,517	—
12	うち、デリバティブ負債の額	—	—	—	9,381	—	—	—	—	8,249	—
13	うち、上記に含まれない負債の額	193,281	64,822	—	610	—	115,999	11,431	—	1,267	—
14	利用可能安定調達額合計	—	—	—	—	10,907,135	—	—	—	—	11,062,139
所要安定調達額 (2)											
15	流動資産の額	—	—	—	—	38,508	—	—	—	—	241,478
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	903,436	2,108,917	611,839	8,063,185	8,732,297	736,986	1,940,105	627,481	8,540,554	8,892,119
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	15	364,116	77,348	705,032	798,339	42	282,075	69,373	835,938	912,978
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額（項番18、19及び22に該当する額を除く。）	59,166	1,424,296	432,532	3,592,912	3,907,747	64,031	1,447,088	469,811	3,728,594	4,050,908
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	84,868	82,100	624,673	489,522	—	93,800	101,560	656,365	524,317
22	うち、住宅ローン債権	—	77,588	79,973	3,417,005	2,807,472	—	79,945	82,871	3,603,643	2,960,997
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	29,026	29,829	878,817	600,659	—	30,441	30,766	917,541	627,005
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	844,254	242,916	21,985	348,234	1,218,737	672,912	130,996	5,425	372,378	967,234
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	その他の資産等	165,579	370,604	10,464	201,630	725,961	235,197	236,987	9,244	90,273	562,966
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金（連結貸借対照表に計上されないものを含む。）	—	—	—	17,696	15,041	—	—	—	32,928	27,988
29	うち、デリバティブ資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	うち、デリバティブ負債（変動証拠金の対価の額を減する前）の額	—	—	—	1,515	1,515	—	—	—	2,520	2,520
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	165,579	370,604	10,464	182,419	709,404	235,197	236,987	9,244	54,824	532,456
32	オフ・バランス取引	—	—	—	3,694,202	179,621	—	—	—	3,599,932	177,090
33	所要安定調達額合計	—	—	—	—	9,676,389	—	—	—	—	9,873,654
34	連結安定調達比率	—	—	—	—	112.7%	—	—	—	—	112.0%

(1) 2022年度第4四半期より安定調達比率の計測を開始しております。  
 (2) 2024年度第2四半期の連結安定調達比率は、2022年度第4四半期より▲0.7ポイントの112.0%となりました。低下の主な要因は所要安定調達額の増加であります。

---

## 二. 持株流動性比率告示第九十九条各号に掲げる要件に関する該当事項

---

持株流動性比率告示第99条に定める「相互に関する資産・負債の特例」への適用はございません。

---

## 三. その他安定調達比率に関する事項

---

2024年度第2四半期の連結安定調達比率は、安定的な資金調達構造の下、規制水準を上回る水準にあることから、中長期の流動性に係る健全性が確保されていると評価しております。